

「苦労したのは職人さんとのコミュニケーション。日本語の壁もあるし、考え方の違いもあった」



西松建設
土木事業本部土木設計部設計一課
レー・アン・ユーン氏

通っていたベトナムの大学と日本の大学の間に編入プログラムがあり、「日本の高い技術を学びたい」と、3年生から日本の大学へ。日常生活のための日本語は勉強して来ましたものの、最初は専門用語がわからず、辞書で調べたり友人に聞いたりしながら、土木の維持管理を勉強しました。大学院工学研究科修了。

父の仕事を手伝うため、ベトナムで高校生時代に土木工事の現場に行きました。材料の運搬業務を担当していました。現在は建築工事の現場にて、職長さんの打ち合わせや安全書類の作成など、監督業務を担当しています。

エン 中国で祖父が建築業をしていたので、よく現場には行っていました。日本で設計の仕事をしてみたいとも思いましたが、建物をつくりたいと現場を希望し、前田建設工業に入りました。現在は建築工事の現場にて、職長さんの打ち合わせや安全書類の作成など、監督業務を担当しています。

キン ものづくりが好きだったので、中国の大学で土木工学を専攻したところには建設業に入ると決めていました。日本の大院で2年間実験を行いましたが、自分自身に技術的もの足りなさを感じました。設計から施工まで一連の仕事に携わりたいと思い、ゼネコンを、鉄道に興味があつたので鉄建設を選びました。



入社1年に配属された現場。職人さんとのコミュニケーションで苦労した（右がレー氏）。

テーマ2 建設業を選んだ理由と仕事の苦労

建設業で働く海外出身者の視点

日本の建設会社には海外出身者もいます。高い志を持って日本に留学し、建設会社で経験を積んでいる人たちです。彼らの目に、日本の学生や建設会社はどう映っているのでしょうか。



(鹿島建設・カンボジア出身) ウン・セイハース
(鉄建建設・中国出身) キン・コウナン
(西松建設・ベトナム出身) レー・アン・ユーン
(前田建設工業・中国出身) エン・チョン

テーマ1 自国の大学と日本の大学

「研究室に泊まり込みで論文を書いていて、『日本の学生は勤勉でまじめだ』と思った」

エン 来日して日本語学校に通い、日本語能力試験の1級を取得したのですが、最初は授業の20%程度しか理解できませんでした。日本の建築学科の学生はタフです。先輩が何日も研究室に泊まり込みで論文を書いていて、「日本の学生は勤勉でまじめだ」と思いました。修士論文を書く時期には、私も研究室に泊まり込みましたが、食事を心配した後輩が鍋をつくれてくれるなど、優しかったです。

キン ベトナムの大学で基礎科目を取得し、3年生から日本の大学に編入しました。肉親も知人もいませんでしたが、日本人の友人にはいろいろなことを教えてもらいました。また、日本の大学にはさまざまなもので生活しているのが印象的でした。

設計本部に配属され、原子力発電所の耐震設計やPC橋の設計を担当しました。2014年9月からは東北地方の橋梁の現場に異動し、施工管理を経験しました。今年6月に土木設計本部に戻り、現在は東北で施工管理を担当しています。今年6月に土木設計本部にいた橋梁の施工支援を中心に設計業務を行っています。



研究室に泊まり込んだ時には、鍋を囲むことも（右がエン氏）。

前田建設工業
東京建築支店西五反田3丁目
M作業所建築係
エン・チョン氏

中国の大学で都市計画を専攻。広場の景観設計で埋設型照明を提案すると、教授に「実現は難しい」と言わされたが、旅行で訪れた横浜市の美術館で実現しているのを見て、卒業後の留学を決意。建築学部の科目を勉強し直し、日本人学生と同じ試験を受け、大学院に入学して建築史を研究した。大学院都市環境科学研究科修了。

キン 中国では一人っ子政策で、大学に入つてからも競争が激しく、学力があれば自分の興味のある道に進むことができます。日本の学生は勉強もアルバイトも両立させていますが、中国の学生の大半はアルバイトをしません。親に学費や生活費を仕送りしてもらいい、勉強しています。私は3年生から日本の大学に編入したのですが、受講しなければならない一般教養科目が残っていました。日本では1~2年生で一般教養を学ぶので、幅広い知識を身に付けることができます。講義もチームで課題に取り組み、プレゼンテーションをすることが多いので、社会人になつて役に立つのではないでしょうか。

「日本で技術をしっかり身につけ、途上国で異文化を味わいながら、インフラ整備に携わりたい」



鉄建建設
東京鉄道支店浦安作業所
キン・コウナン氏

中国の大学では土木工学を専攻。教科書に掲載されていた力学の計算方法や施工例が日本の技術者によるものだったことから、あこがれて日本に留学した。2年間日本語学校に通った後、大学院に編入して土木構造物のメンテナンスを学んだ。大学院建設システム工学科修了。

の実現していません。
キン 国際的なエンジニアになりたいです。日本で技術をしつかり身につけてみたい。最終的には中国に戻り、最近はさまざまな事故が発生しているので、安全を含めた社会管理システムを変えていきたいです。
セイハ 日本で学んだ知識を生かし、橋梁のスペシャリストとしてインフラ整備に貢献し、経済成長する東南アジアを中心に、人々の暮らしに役立ちたいと考えています。

テーマ4

将来の夢

エン 直近の目標にはなりますが、半年間、中国企業の方たちが当社の現場に研修にくるので、中国語のできる私が力になりました。少なく速度も遅いのです。地下鉄の計画はあるもの



新入社員として鍛えられ、技術を学んだ現場で（左から2人目がキン氏）。



テーマ3

自国の建設業と日本の建設業

セイハ 日本人の事に対する面白さが強く印象に残っています。東北の現場にいた時のことです。勉強のためにコンクリートの仕上げの作業を手伝つたことがあります。「これでは日本では通用しない」と言われ、職人さんがとても丁寧な仕上げをしていたことに心を打たれました。一方、カンボジア完璧さを追求する日本人はすばらしいと思いました。

レー ベトナムに比べ、日本では安全を重視して工事を進めます。私も現場に赴任したての頃、安全帯や軍手をはめずに現場に出ようとしたことがあります。その時に所長や先輩に「良いものをつくるだけでなく、安全も考えて作業をしなければならない」と教わりました。また、ベトナムの大學生試では土木学科の合格点数が高く、建設会社に入つてからの給料も悪くありません。ほかの分野の技術者



セイハ氏は現在、本社にて施工管理を担った東北の現場を支援している。

学生へのメッセージ

将来像を早めに描け！

大学では土木工学の理論を丁寧に教えてくれます。学んだことが何につながるのか、将来像を早めに描けば、コンクリートや土質に関する勉強をしっかりしておくことができます。勉強するならば、社会人になってからよりも、学生時代にしておいた方が得です。

ウン・セイハ氏

一度は海外に出て異文化を！

人生の中で、一度は海外に出てみてください。自分たちも海外から留学生として来日して、日本の会社で働いています。日本のすばらしい文化や技術を海外を持って行ってください。異文化と接すれば考え方変わります。

キン・コウナン氏

夢を持ってチャレンジを！

日本の学生は安定志向が強いのではないかでしょう。就職の時にびっくりしたのは、公務員の志望者の割合が高かったです。自分の将来に夢を持って、チャレンジした方が良いと思います。

レー・アン・ユーン氏

恵まれた環境を生かせ！

中国では裕福でないと大学に行けない現実がありますが、日本ではアルバイトもできるし、奨学金制度も整備されています。恵まれた環境を生かして勉強し、やりたいことにチャレンジしてください。

エン・チョン氏

「職人さんがとても丁寧な仕上げをしていたことに心を打たれた」



鹿島建設
土木設計本部構造設計部橋梁グループ
ウン・セイハ氏

日本のODA（政府開発援助）で整備された橋梁により、カンボジアの人々の生活が便利に。日本人の働く姿勢や橋の品質に対する地元の評価も高かったため、留学を決意。大学では電気電子工学を専攻していましたが、土木工学で留学試験を受け、3年生から日本の大学に編入。鋼橋の腐食に関する研究を行った。大学院工学研究科修了。

アでは、土木技術者の社会的地位が高いと感じます。発展途上にあるので、インフラづくりに貢献できる技術者が高く評価されています。

キン 中国では設計図面に基づいて規格品を使い、施工作物ができます。特に施工方法にはこだわりません。日本では、それにプラスして仕様通りに施工を進めなければなりません。私が担当する鉄道工事に工品質・安全管理をしながら工事を進めています。

エン 中国の職人さんの一部は農閑期に大都市の建設現場で働く農民工です。建築の専門職ではありませんが、彼らがいるので中国の建設業が急速に発展しています。農民工は監督職員の指示に従い、否定するところではありません。日本の職人さんは違うところです。一方、中国の建築技術者は、とても広い現場での建築技術者は、とても広い現場なのにわずか数名で現場を監督しています。